

地域リハビリテーション従事者研修会（H23.3.19）意見等に対するQ&A

	グループワークでの意見、質問	回答
周知	・発行、利用方法について周知不足 関係者も利用者も家族も	あらゆる機会でもPRしてきたいと思います。 利用者や、家族の方へは、利用しながら関係者の方から使い方のアドバイスをしていただくことで徐々に利用者・家族のわかるよう方法がわかられると思います。
	・六日市病院では活用していないが、今後関係機関の連携のためにも利用してもよいのではないかと。	生活療養ノートは現在、益田市内を中心に活用が広がってきています。 今後、吉賀町や津和野町ないでの、関係機関の連携の現状を把握したうえで、検討を進めていきたいと思っています。
	・療養ノートのポスター等があるか？	現在ポスターはありません。 ポスターのいいアイデアがありましたらお知らせください。
対象	・施設に退院する人では、ノートを見たことがなく、作成依頼した時に作成してもらえるのか？	原則、退院時に在宅に代えられる人に作成しています。しかし、入所の人も、要望があればできるだけ対応します。
	・入浴だけの人もノートを使うのか	退院時に療養ノートを受け取ることは、自分の病気についての理解に役立つので、介護サービスを使う使わざるに拘わらずノートを受け取っておいた方がよい。 また、今は入浴サービスだけでも、将来的に他のサービスを受けることが想定される場合もある。
	・病院により、ノート発行の対象が違うのか？ 統一できるといいのではないかと	現在は病院の体制により対象が若干違います。 ですが、この方はノートが欲しいという方については、各病院に要望すると作成してもらうことができます。
運用について	・退院時から時間がかかって届くケースがある	病院でも、できるだけ早期にノートを作成する努力はされています。 しかし、退院日が急に決定する場合もあり間に合わない場合もあります。 また、できるだけケアマネージャーさんに情報提供するため、ノートより事前にFAX・郵送等で情報提供をするようにしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・現在どのくらいの人が利用できているのか、保健所の方で追跡調査など把握が必要。 ・療養ノートを作成後、ノートの利用者や施設の担当者などどの程度活用できているのか？問題はないのかを全ての対象者に調査する体制は取っているのか？ 	<p>現在約200件ほど、ノートを持って退院された方がおられます。ノートの評価として状況把握は必要と考えますので、その方法については、個人情報等のことも考慮しながらワーキング会議で何らかの方法で情報把握の方法を検討したいと思います。</p> <p>なお、これまではノート発行時に活用してのアンケートを同封して渡していますので、引き続きアンケートへの協力はよろしくお願いします。</p>
ノートの様式	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔のページ（様式3, 4）はPT,OTは書きにくい。 	<p>可能な範囲での記入やチェックでも良いのでご記入下さい。 STとの連携が必要な場合もあるかもしれません。また、評価が困難な場合（開口が困難等）には、歯科受診（院内の歯科）あるいは歯科医師（協力歯科医療機関歯科医師等）による訪問で対応可能と思われます。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔嚥下の評価 専門性から見て、本人、家族がノートを見て簡単にできる、他施設にとってもわかりやすいものがあればいい 	<p>利用者や家族から口腔嚥下に関する訴えがあるときには、まず、ノートの11ページにある「口腔ケアと飲み込み、食事のチェックポイント」をチェックしてみましょう。</p> <p>チェック項目に該当するようでしたら、歯科に関することは歯科医や歯科衛生士に相談し、嚥下のことは医師会病院や益田赤十字病院のリハビリ外来に受診しましょう。歯科医やリハ外来では、状態を評価してもらうことができます。</p>
	<p>様式7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイタル等の記入欄がある記入しやすい様式に変更する場合がある ・ご家族に読んでもらうようにする ・今後の様式7は多様性が必要 ・複数の事業所利用の場合はペンの色を分けている ・事業所を複数利用される場合は、すり合わせが必要 ・様式7は形式があるのではないか？ バイタル等が記入できるといい。他の職種の動きがわかってよい。 	<p>様式7は、誰でも自由に使っていただくために現在のような罫線のものになっています。</p> <p>利用車の方の状況により、様式は工夫して使われて結構です。</p> <p>既に、血圧が不安定な方には血圧の変化がみれるような欄を作っている事業所や、御家族も記入しやすいような用紙にしている事業所など工夫しておられるところがあります。</p> <p>様式7をアレンジされた様式を、参考までに益田保健所ホームページに掲載しますので御活用ください。</p> <p>担当者会等で、事業所間で了解の上利用されることをお勧めします。</p>

<p>利用状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所も来所時にはノートを見やすくしている。しかし、様式1～6はあまり見ない。様式7を中心になるので、これまでの経過等を踏まえて見れていない。 	<p>様式1～5は、退院時に病院から作成されて利用者の方に渡されていますので、退院時のケアプランには反映できているのではないかと思います。</p> <p>日々は、様式5の利用者や家族の目標と、貴事業所のケアプランをもとに支援をしておられると思うので、前回から貴事業所利用までの記入を確認すればいいと思います。</p> <p>状態に変化があったときには、関係事業所等で情報できるよう、ノートを活用してください。</p> <p>また、様式1～5は作成時に CMの方へ送付しています。必要に応じてCMからコピーなどの形で受け取って頂ければと思います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の記入がほとんどない。家族が見ているのだろうか？→サインをしてほしい。 	<p>第2版になってからは、様式7に確認欄があります。</p> <p>見られたらサインをお願いしますと、御家族に声をかけ、教えて差し上げてください。使い方を知られないのかもしれませんが。</p> <p>また、御家族や利用者がお返事を記入するような内容を記入してみることもよいのではないのでしょうか？</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーにとっては、ノートの記入難しい。ヘルパーの一担当が記入していいのか。訪問時間内に事業所の記録と療養ノートは書けない 	<p>関わるみんなが書くことに意義があります。</p> <p>毎回でなくても、特筆事項がある時や他事業所への質問がある時のみの記載でも良いと思います。</p> <p>また、見られたサインでも良いと思います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピストが中心にかかわるので、介護職は毎回ノートを見るわけではないが、週1回の会議でスタッフの意思統一をしている。 	<p>同じ事業所内のスタッフ間の情報共有ができていたことがすばらしいと思います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・FIMがネックになって誰でもかけない 	<p>FIMの勉強はしていきたいと思いますが、FIMにこだわらなくても、FIMの点数以外の部分であれば様式2も記載が可能ではないかと思います。可能な範囲での記入を行って下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・FIMは、デイケアでもわからない項目もあり、実際に見ないとわからないところもある。家族の協力が必要（ききとり） 	<p>自宅での生活を把握する事は、より個別的で効果の高いリハを提供するためには必要不可欠ではないかと思います。可能な範囲での把握やCMとの情報共有をお願いします（CMへ記入を依頼しても良いと思います）</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・その日の記入が難しい ・業務中に読む、書く時間がない ・何を記入していいかわからない 	<p>貴事業所の記録を貼っていただいても結構です。</p> <p>記入内容は、利用者や家族の方は様式5で目標を持って退院しておられます。その目標についての記載があると、利用者も意欲が出るという調査結果がありますので、ぜひ目標達成のための支援と声かけをお願いします。</p> <p>他、何を記入されてもいいと思います。家庭と事業所、他の事業所との情報共有にも活用してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時の活用が難しい <p>現状の能力の把握が関わるスタッフ間で共有できていない</p>	<p>まずは、見て情報共有をするところから利用してみてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・様式7等の記入様式が何の連絡もなく変更するのは困る 	<p>ケアマネージャーがつなぎ役としてまとめて調整する方法はいかがでしょうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・療養ノートに記入する内容は、よいことは記入しやすいが、認知面の内容記入など難しい 	<p>問題行動や虐待の問題などについては、以前より情報の共有方法について協議が必要と考えています。ノートへの記入は本人家族が見る者として記入をお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所の様子がわかってよい 	<p>他の事業所との情報共有に活用してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一言でもいいので、読んだら記入させてもらおうと思った。 	<p>様式7への記入もよろしくをお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・単一事業所だけだとあまり活用できない <p>その事業所の記録も書き、ノートも書くのか？</p>	<p>変化点や特筆事項がある時だけでも記入をお願いしたいと考えます。後々他のサービスを利用するときに貴重な情報になるのではないかと思います。</p> <p>利用者の家族にとってはサービス時の状況がわかり喜ばれている方や、経過を見て励みにされておられる方も居られます。是非ノートを記入いただければと思います。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・病院でしているリハと訪問リハの内容が違っていると思うときもある。ノートがうまく使えるともっと連携がうまくいく 	<p>病院という限られた環境化でのリハと、実際の生活の場そのものでのリハは内容が違う事こそが本来の姿です。問題は、そのこと自体が十分説明・啓蒙できていないことだと推測します。そのためにもノートを活用して、どうして行けばいいかを話し合っていくことが必要だと感じます。</p> <p>ノートで気づいた点など病院にフィードバックしていただけると喜びます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ノートをだれが持っているのかわからない 家族も提示しない人もいる ケアマネージャーが提示してくれるといい 	<p>現在、病院からは必ず、ケアマネージャーさんに情報提供をしてノートを発行していますので、ケアマネージャーが知らないノート利用者はおられないと思います。</p> <p>益田赤十字病院利用者退院時にケアマネージャーにノート送付し、利用者へ渡してもらう方法で発行。</p> <p>医師会病院退院時にケアマネージャーに様式1～5とアンケートを送付し、ノート本体は利用者が持って退院している。</p> <p>また、各病院からノートを発行する対象者は決まっていますので、該当する方には気付かれた関係スタッフが声をかけてみてください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔・摂食嚥下（様式3, 4）の項目で問題なく正常であれば「問題なし」と記載してもよいのではないかと？（例えば、下肢の骨折のみの方） 	<p>問題のない項目では「問題なし」と記載しても結構ですが、様式3・4の項目への記載はお願いします。口腔清掃については自立しているようにみえても口腔内はきれいになっていない場合があります。また、加齢による口腔機能の低下がみられる場合もあります。当面、問題がなくても「口腔ケアと飲み込み、食事のチェックポイント」を参考に口腔の状態と嚥下の状態の観察をお願いします。異常があれば歯科受診を勧めてください。歯科からリハビリテーション科あるいは他科受診を勧められる場合もあるかもしれません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の中には、バイタルチェックの簡単な表をつけているところもあり、連携材料の一つになっている。 	<p>利用者の状況により、必要な様式を追加することは自由です。ぜひ工夫されてよかったことは、他へ波及させるためにも保健所へお知らせください。FAX可</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・様式7の用紙が無くなったとケアマネージャーに補充を求める事業所がある。 	<p>基本的には、様式7が無くなったときには各事業所で補充して頂きますようお願いいたします。様式は、益田保健所ホームページの地域リハビリテーションのページからダウンロードできます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・療養ノートの挟みである書類が多くなり挟めなくなったときはどうするのか？ 	<p>利用者とは相談していただく必要があると思いますが、例えば、様式7の、初期の頃のページだけを取り外し、利用者へ用意して頂いたファイルに挟み自宅で保存をお願いしてはいかがでしょうか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・療養ノートの利用者は、療養ノート1本に絞るが、食事等の欄もないので様式を作ったりしている。 	<p>利用者にとって必要な内容については、追加して頂いて結構です。事業所で工夫されている様式の例も、益田保健所ホームページの地域リハビリテーションのところに掲載していますので、参考にしてください。</p>

<p>評価方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ノートの評価はだれがするのか • 再評価は誰がどうするのか？現在は各事業所でリハ計画書を作成しているのみ。 • FIM 等の評価は継続して行うのか？ • 評価、FIM 等、担当者会で各事業所の評価を見てみたい 	<p>現状では、再評価はセラピストのいる施設が定期的に行う事になっていたはずですが、様々な理由などで、行えていないというのが現状ではないかと思います。</p> <p>現在約200件ほど、ノートを持って退院された方がおられます。ノートの評価として状況把握は必要と考えますので、その方法については、個人情報等のことも考慮しながらワーキング会議で何らかの方法で情報把握の方法を検討したいと思います。</p> <p>なお、これまではノート発行時に活用してのアンケートを同封して渡していますので、引き続きアンケートへの協力はよろしく願います。</p> <p>現状では療法士がいる施設では継続して評価して頂いている施設もあります。FIM の評価者の制約はありませんのでより多くの方に、FIM を理解し評価いただきたいです。</p>
<p>研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 継続した研修が必要である 	<p>今後も研修を続けていきたいと思っています。</p> <p>また、研修で聞かせて頂いた意見をもとに、ノートの改善に努めていきたいと思っています。</p>